

月岡芳年

血と妖艶

2020 4/1 (水)

— 5/27 (水)

前期 4/1 (水) — 4/26 (日)

後期 5/1 (金) — 5/27 (水)

※前後期で全点展示替え



血妖艶闇

芳年の妖しい世界へようこそ…



①

月岡芳年（1839〜192）は、幕末から明治時代前半にかけて活躍した浮世絵師です。芳年の特色となる作品が、残酷な殺戮シーンを描いた「血みどろ絵」。飛び散る血をセンセーショナルに描いたおどろおどろしい表現は、江戸川乱歩や三島由紀夫など、大正・昭和に活躍した文学者たちを惹きつけたことでも知られています。

また、月岡芳年は美人画も描いていますが、芳年の女性たちは単に外見が美しいだけではなく、内面の魅力を感じさせるような、妖艶な魅力が漂っています。本展覧会では、「血」「妖艶」「闇」という3つのキーワードを通して、月岡芳年の魅力を深掘りします。血みどろ絵の代表作「英名二十八衆句」や美人画の代表作「風俗三十二相」はもちろんのこと、「魁題百撰相」「新形三十六怪撰」「月百姿」などの著名なシリーズも含め、約150点（前期と後期で全点展示替え）の作品をご紹介します。



②



③



④

表 月岡芳年「英名二十八衆句 因果小僧六之助」(太田記念美術館蔵)後期 ①月岡芳年「奥州安達がはらひとつ家の図」(太田記念美術館蔵)後期 ②月岡芳年「風俗三十二相 いたさう」(太田記念美術館蔵)前期 ③月岡芳年「月百姿 吼喊」(太田記念美術館蔵)後期 ④月岡芳年「英名二十八衆句 福岡貢」(個人蔵)前期

開館時間 10:30～17:30(入館17:00まで)

休館日 月曜日(5/4は開館)、4/27～4/30(展示替えのため)、5/7

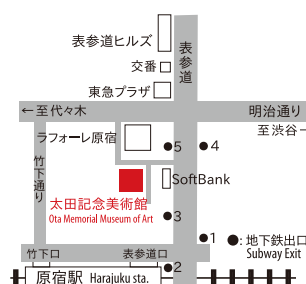
入館料 一般 800円 大高生 600円 中学生以下無料

問合せ 050-5541-8600(ハローダイヤル)

アクセス

東京都渋谷区神宮前1-10-10 JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分

東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分



太田記念美術館
OTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/> twitter @ukiyoeota